

日本私立大学協会
会長 大沼 淳 様

全国高等学校長協会
会長 笹 のぶえ

大学等入学者選抜について（要望等）

日頃より、大学等進学を目指す高等学校の生徒並びに進学した高等学校卒業生に対して、一方ならぬご支援、ご指導を賜り、誠にありがとうございます。

大学等入学選抜における平成 31 年度アドミッション・オフィス（AO）入試について、全国高等学校長協会として下記の通り要望させていただきます。

つきましては、要望の内容を貴団体所属の各大学等へお伝えいただきたく、よろしく願い申し上げます。

記

アドミッション・オフィス（AO）入試においては、例年、本協会から「多くの大学等において『アドミッション・オフィス入試へのエントリー登録』と称する形態で 8 月 1 日以前に実質的な選抜が行なわれている」と指摘させていただき、生徒たちの落ち着いた学習環境の確保のために、ご配慮をお願いしてきたところでございます。

これまで数多くの大学等において、この要望を受け止めていただき、エントリー登録を含めたアドミッション・オフィス（AO）入試の選抜業務を 8 月 1 日以降に変更していただきました。このことに、深く感謝いたします。

しかし、昨年度からの推移を見ますと、本年度も昨年度を上回る数の大学等で、8 月 1 日以前にエントリー登録・面接等の結果により、アドミッション・オフィス（AO）入試における正規出願の可否が受験者に伝えられているという現状があります。該当する大学等における正規出願者の合格倍率が限りなく 1 倍に近いという事実を鑑みても、エントリー登録による出願可否の決定が実質的な入学選抜になっているととらえざるをえない状況が続いております。さらに本質論に立って申し上げますと、アドミッション・オフィス（AO）入試に限らず、受験者にとって大学等への出願という行為は、その可否を問うものではなく、自由であるべきものであると考えることができ、「出願の可否を判定する」ということ自体が論理的に理解しがたい事柄であります。

高等学校関係者は、最終学年在籍の生徒達に可能なかぎり落ち着いた環境で学習をさせたいと願っております。この気持ちをお酌み取りいただき、エントリー登録を含めた全てのアドミッション・オフィス（AO）入試の選抜業務を、8 月 1 日以降に行なっていただくことを、改めてお願い申し上げます。